公表

事業所における自己評価総括表

| ○事業所名 | 社会福祉法人ねがいの杜 のっぽさん | | | | |
|----------------|-------------------|--------------|--------|--------------|--|
| ○保護者評価実施期間 | 2 | 2025年 3月 10日 | ~ | 2025年 3月 23日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16名 | (回答者数) | 11名 | |
| ○従業者評価実施期間 | 2 | 2025年 3月 10日 | ~ | 2025年 3月 23日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) | 8名 | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2 | 2025年 3月 25日 | | | |

○ 分析結果

| | | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|-----|---|---|---|
| 1 | 1 1 | 支援の土台となる同じ研修(ステップアップ方式)を職員全 員が受けているため、同じ方向を目指して支援ができる。 | 研修制度の充実を図っている。 | 研修の幅を広げていきたい。 |
| 2 | | 関係機関との連携。 | | 他事業所と、もう少し関係性を深めていきたい。 当事業所が中心となって、交流会のようなものを、将来的に は開催したい。 |
| | 3 | 職員間の連携。 | 各利用者様に関する情報や課題について、職員間で話し合い ながら支援方法を考えられている。 | 話し合いに参加できる職員が割と限られてしまっているので、全職員が話し合いに参加できるようにしていきたい。 ミーティングの内容が、情報共有で終わりがちなので、事例検討や職員の心のケアの要素を取り入れる等、内容もっと充実させていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 顔を合わせての毎日の打ち合わせが難しい。 | | 引き続き、ラインやノートを活用し、確実に情報共有ができるようにしていく。その上で、全員でなくても振り返りや今後の支援の話し合いの時間をもっとたくさんもてるよう、環境を整えていく。 |
| 2 | 保護者とのコミュニケーションや事業に関する情報の伝達が うまくいっていない。 | 保護者とゆっくり話をできる機会が少ない。 保護者が、活動中の様子を見る機会がない。 | 面談の機会を増やし、設定時間にも配慮し、保護者のニーズを掘り出せるよう改善する。 子ども達が実際に活動している様子を、保護者が見られるような機会を設ける。 |
| 3 | | | |